

一日15分で必ずわかる
英語「再」入門

尾崎哲夫



著者略歴

尾崎哲夫 (おざき・てつお)

1953年大阪府生まれ。76年早稲田大学法学部卒業。2000年早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係専攻修了。松下電送機器(株)、関西外国語大学短期大学部教授を経て、現在、近畿大学経済学部教授。主な著書に『法律英語用語辞典』(自由国民社)、『私の英単語帳を公開します! 尾崎式の秘密』(幻冬舎)、『大人のための英語勉強法 独学で会話力・読解力はここまで伸ばせる!』(PHP文庫)、『英語「超基本」を一日30分!』(角川oneテーマ21)、『ビジネスマンの基礎英語』(日経文庫)など。

尾崎哲夫ウェブサイト <http://www.ozaki.to>

ソフトバンク新書 036

一日15分で必ずわかる^{にち ふん かなら}英語「再」^{えい ご さい にゅうもん}入門

2007年3月22日 初版第1刷発行

著者: ^{おざきてつお}尾崎哲夫

発行者: 新田光敏

発行所: ソフトバンク クリエイティブ株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-13-13

営業: 03 (5549) 1201

装幀: 松 昭教

組版: クニメディア株式会社

印刷・製本: 図書印刷株式会社

落丁本、乱丁本は小社営業部にてお取り替えいたします。定価はカバーに記載されております。本書の内容に関するご質問等は、小社第2書籍編集部まで必ず書面にてご連絡いただきますようお願いいたします。

©Tetsuo Ozaki 2007 Printed in Japan

ISBN 978-4-7973-4011-2

一日15分で必ずわかる英語「再」入門

尾崎哲夫

はじめに

まずは、この本が英語学習の中でどういう位置づけになっていて、読者の皆さんにとってどう利用すれば一番プラスになるかを説明させてください。

平均的日本人はどのように英語に接しているのでしょうか。

●中学生

学校の教科のひとつとして英語学習開始→英語超基本、文法、読解中心

●高校生

さらに学習し、大学受験へ→英語基本、文法、読解、語い

●社会人

学校で学ばなかったリスニングと英会話を様々な形で各々が学び始める

次に日本人にとって英語学習のプロセスはどうあるべきかを考えます。母語として母親の乳を飲みながら英語学習するアメリカ人とは異なります。あくまで外国の言葉を学習対象として、ちょうど地理や歴史の勉強のように取り組むわけです。ですから、アメリカに行って、周りとは接触せず、ひたすらアメリカの歩道を歩いているだけで、英語の粉が空から舞い降りて英語を話せるようになるわけではありません。

アメリカ在住が効果を表すのは、日本で相当な英語力（英検2級、TOEIC550点以上）を身につけた後、積極的にアメリカ人と会話し、話せなかったことを夜辞書や文法書を見直しながら復習するパターンです。

①基本的な英語力

これは骨格となる英文法（詳しすぎないもの）と語彙力が基本です。

②英語を話す力

上記の基本的な英語力に加え、英会話を組み立てる力を養う必要があります。もちろん会話は応答ですから、下記のようなリスニング力がなければ会話になりません。話す力は基本的な英語力に味付けする形で会話表現を覚えたり、英語を組み立てる力を養ったりする必要があります。

③英語語彙力

これは英語のすべての土台です。リスニング力といっても知らない単語が聞き取れるはずありません。知っている単語もあるのに聞き取れたり聞き取れなかったりするのです。この語彙力の重要性はいくら強調しても強調しすぎることはありません。

④英語を聞く力

このように言うのと冷たく聞こえるというか、むしろ無責任に聞こえるかも知れませんが「ひたすら聞き続ける」ことしか方法はありません。どういう教材を聞くかがポイントになります。一言でいえば自分が興味を持てる教材を選ぶことが重要です。また、実際にアメリカに行って音が拾えるように訓練することも自信をつける方法です。

⑤英語を読む力

従来、日本の英語教育はこれを重視しすぎてきたという批判が長期にわたって行われてきました。英語教育者の間では「構文力で論理的に読む力こそ大切なのに……」と反論されてきましたが、「話せなければ実際に役立たない」という「現

実論」に押され続けてきました。しかしトレンドは確実に変わりました。

英語を読む力が実はとても大切だということが急速に再認識され始めたのです。英語を読む力がなければインターネット、海外の書類、新聞・雑誌を読むことはできません。海外に行っても標識、薬の処方箋、公園の案内、スーパーのチラシなども読めません。

そして、この英語を読む力は構文力と文法力と語彙力の3つが必要なのです。

⑥英語を書く力

これは高度な英語力を要求されます。しかし、今後海外で働く人が増えるにつれて、挑戦する人が増え続けるでしょう。特にビジネスの分野では、仕事に占めるEメールの割合が増えており、英作文能力は必須となっています。この場合も、構文力と文法力が必要です。

さて、話を戻して、この本を手にとってくださった読者の皆さんは、この本に何を求めているのでしょうか。あるいは著者として読者の皆さんに何を提供すればよいのでしょうか。

やはりそれは次の項目だと思います。

英語の基本力

全体的な英語力をつけるためにも英会話のためにも。

英語のやり直し

せっかく中学から学んだ英語の総復習をし、それを活かしつつさらに伸ばしたい。

結局、中学以来の英文法を柱に基本的な英語力の底上げを図るために、この本を書いたのです。ただ高校英文法の参考書のように、第一章名詞、第二章形容詞、第三章動詞……というような文法項目の羅列ではなく、ユニークな切り取りをすることによって目からウロコの文法力の復習をしたいと考えたのです。英語は、偶然とはいえ、3つでまとめられるものが多くあります。

①名詞・形容詞・副詞のいわゆる“メイ・ケイ・フク”のトリオ

これは不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法に対応します。あるいは名詞句、形容詞句、副詞句に対応します。

②未来・現在・過去の三つの時制

こういう、従来にない切り取りをしながら、あいまいになっている中学以来の英語基礎力を固め直そうとしたのが本書です。

読者の皆さんが本書を使って英語力の再構築をされることを担当編集者として努力を惜しまれなかった斎藤順氏と共に心から祈っています。

2007年2月

尾崎哲夫

目次

はじめに 3

① 英語の時制 14

——基本中の基本！3つの時制

② 現在時制 17

——性質、状態、習慣、不変の真理を表現

③ 過去時制 20

——時間軸を現在から過去に移動するだけ

④ 未来時制 23

——willとgoing to、進行形や現在形で表現

⑤ 英文の種類 26

——おおまかには3つで足りてしまいます

⑥ 平叙文1 肯定文 29

——事実や考え、気持ちをストレートに表現

⑦ 平叙文2 否定文 32

——肯定文と同じで内容が否定なだけ

⑧ 疑問文1 be動詞 35

——何かを尋ねるには

⑨ 疑問文2 一般動詞 38

——Do, Does, Did＋原形動詞

⑩ 疑問文3 助動詞 41

——Do, Doesの代わりに助動詞を使うだけ

⑪ 疑問文4 疑問詞 44

——5 W1Hを使いこなす

⑫3つの疑問文 47

——疑問文の使い方をおさらいしましょう

⑬疑問文のバリエーション1 否定疑問文 49

——疑問文の使い方をおさらいしましょう

⑭疑問文への答え方1 52

——答えるときに注意が必要な疑問文

⑮疑問文のバリエーション2 間接疑問文 55

——文の中に埋め込まれた疑問文

⑯依頼文を決める3つの要素 58

——表現が長く、過去形のほうが丁寧

⑰丁寧な依頼文1 60

——比較的丁寧度の低い依頼表現

⑱丁寧な依頼文2 63

——かなり丁寧度の高い依頼表現

⑲依頼への答え方 66

——依頼の受け方、配慮した断わり方

⑳命令文1 肯定文 69

——動詞の原形から始まる

㉑命令文2 否定文 72

——親しみを込めた否定表現

㉒3つの文の種類 74

——これだけ覚えれば、あとは想像力と慣れ

㉓感嘆文1 76

——会話にリズムを添える表現

㉔感嘆文2 79

——Whatを使う感嘆表現

㉔ 感嘆文まとめ 82

——2種類の感嘆表現をおさらいしましょう

㉕ 3つのing 84

——進行形、動名詞、現在分詞

㉖ 進行形1 86

——～している、～中

㉗ 進行形2 89

——進行形を使った否定・疑問表現

㉘ 動名詞1 91

——～すること

㉙ 動名詞2 94

——動作が行われた時を表す

㉚ 現在分詞1 97

——～している…

㉛ 現在分詞2 100

——目的語が生き生き動いている感じが出ます

㉜ 過去分詞1 102

——過去分詞の使い方を練習しましょう

㉝ 受動態1 104

——～される

㉞ 受動態2 107

——be動詞を置き、動詞のed形が続きます

㉟ 完了形 110

——完了形には3つの用法があります

㊱ 現在完了 112

——現在完了形には3つの用法があります

③⑧ 過去完了 115

——現在完了形の時間軸を過去に移しただけ

③⑨ 形容詞用法 118

——～された、～した

④⑩ 過去分詞の補語 121

——動作の完了を表したりします

④⑪ 分詞構文1 124

——時や理由を表すことが多い表現法

④⑫ 分詞構文2 127

——会話の中に出てくる分詞構文

④⑬ to不定詞 130

——状況やニュアンスを表現

④⑭ 不定詞の使い方 133

——3つの使い方があります

④⑮ 原形不定詞 135

——文章を豊かにする上で重要な役割

④⑯ 不定詞の決まり文句 137

——そのまま覚えて使いましょう

④⑰ 準動詞 139

——情報を付け加えたりする重要な用法です

④⑱ 3つの準動詞 141

——動名詞、to不定詞、原形不定詞

④⑲ 準動詞の3つの用法 143

——この違いを覚えればメリット大

⑤① 名詞の種類 146

——名詞についておさらいしましょう

⑤1 to不定詞の名詞的用法 148

——この用法を押さえておきましょう

⑤2 名詞句 まとめ 151

——名詞的用法のおさらいをしましょう

⑤3 形容詞について 153

——その働きに応じて3つに分けられます

⑤4 形容詞的用法（現在分詞） 155

——準動詞の形容詞的用法

⑤5 形容詞的用法（過去分詞） 158

——受動的・完了のニュアンスを残す

⑤6 形容詞的用法（to不定詞） 160

——～するための

⑤7 形容詞句 まとめ 163

——形容詞的用法をおさらいしましょう

⑤8 副詞について 166

——形容詞との使い分けや文中位置に注意

⑤9 副詞的用法（現在分詞） 168

——準動詞の副詞的用法

⑥0 副詞的用法（過去分詞） 171

——多くの場合受動的な意味を表します

⑥1 副詞的用法（to不定詞） 173

——～するために、～した結果…、～して

⑥2 副詞句のまとめ 176

——副詞的用法のおさらいをしましょう

⑥3 比較について 178

——3つの段階があります

- ⑥4 原級1 181
——形容詞の原級の使い方
- ⑥5 原級2 184
——副詞の原級の使い方
- ⑥6 比較級1 187
——形容詞の比較級を使った表現
- ⑥7 比較級2 190
——副詞の原形を使った比較級
- ⑥8 最上級1 193
——形容詞の最上級を使った比較表現
- ⑥9 最上級2 196
——副詞の最上級を使った比較表現
- ⑦0 比較表現まとめ 199
——比較表現をおさらいしましょう
- ⑦1 接続詞の種類 201
——等位接続詞と従属接続詞
- ⑦2 接続詞1 203
——対等関係のものを結びつける等位接続詞
- ⑦3 接続詞2 206
——主節と従属節を結びつける従属接続詞
- ⑦4 接続詞まとめ 208
——接続詞の使い方をおさらいしましょう
- ⑦5 関係詞の種類 210
——接続詞の働きを兼ねます
- ⑦6 関係代名詞1 212
——who、whose、whom

⑦ 関係代名詞2 215

——代名詞が事物の場合はwhich

⑧ 関係副詞1 218

——関係副詞で表される時、場所

⑨ 関係副詞2 221

——関係副詞で表される理由、方法

⑩ 関係詞 まとめ 224

——関係詞の使い方をおさらいしましょう

⑪ 数の基本 226

——意外に難しい数字の使い方をマスター

⑫ 日常生活の数字の基本 230

——分数 (fraction) と小数 (decimal)

おわりに 233

1

英語の時制

——基本中の基本！ 3つの時制

- ① **I have a cup of coffee every morning.**
(私は、毎朝コーヒーを飲みます。)
- ② **I went for a walk to the Central Park yesterday.**
(昨日セントラルパークを散歩しました。)
- ③ **I will hand in the annual report by next Monday.**
(月曜日までに年次報告書を提出します。)

英語の仕組みを見ていると、いろんなことが3つのパターンで説明できることに驚きます。例えば、1人称・2人称・3人称の3つの人称や原級・比較級・最上級といった3つの比較を表す文など、3つのパターンで成り立つ項目がたくさんあります。この本では、3をキーワードに英語の仕組みをまとめ、すぐに使えるように整理整頓していきます。まず始めに、英語を書く時には欠かせない、基本中の基本、3つの時制を取り上げます。

現在、過去、未来——私たちは、時間をこのように3つに分けて考えます。そして英語では、これら3つの時間を動詞を変化させることによって表現します。これを時制といい、英語を書くときには、必ずどれかの時制を使わなければなりません。しっかり覚えてください。

現在の行為・状態を表すのが現在時制で、動詞の現在形を

用います。①の例文では、「毎朝コーヒーを飲む」という現在の習慣をhaveという現在形の動詞を使って述べています。以下の例文は、現在の状態、現在の真実をそれぞれ表しています。

① **I'm so confused!**

(分からなくなっちゃった。)

② **The earth is round.**

(地球は丸い。)

過去の行為・状態を表すのが過去時制で、動詞の過去形で表します。例文では、goの過去形wentを使って述べています。

I made it!

(やった!)

何かを作った訳ではありませんが、「やった!」と言う時は、このように過去形を使います。I did it!とも言います。

未来の行為・状態を表すのが未来時制で、助動詞will/shallまたはbe going toと動詞の原型で表します。例文では、未来に予定している行為を助動詞willと動詞hand inを使って表しています。

I'm going to make a business trip to New York next week.

(来週はニューヨークに出張なんです。)